

BOLD MOTOR SPORTS # 55

2009 Super Taikyu Race Report Rd.1 ツインリンクもてぎ 400km RACE



開催日: 2009年 3月29日(日)
開催サーキット: ツインリンクもてぎ (1周4.801m)
天候: 公式予選日: 決勝日: 晴れ/ドライ
参加台数: 27台 ST1×4台、ST2×9台、ST3×7台、ST4×7台
決勝出走: 27台 ST1×4台、ST2×9台、ST3×7台、ST4×7台

公式予選: 総合20位 クラス 1位
決勝結果: 総合16位 クラス 2位



- A ドライバー 谷川達也 (Tanigawa Tatsuya)
- B ドライバー 松井孝充 (Matui Takamitsu)
- C ドライバー 河村直樹 (Kawamura Naoki)

QUALIFY 公式予選、決勝 3月 29日(日)
スーパー耐久400キロ
予選結果
Aドライバー谷川達也ラップタイム
2分10.438秒
Bドライバー松井孝充
2分10.782秒
Cドライバー河村直樹
2分14.573秒
結果総合16位、クラス1位
シリーズランキング ST-4 合計7台中 2位
ランキングポイント 19ポイント獲得



スタートドライバー谷川達也、レース前半から好調な走りをパフォーマンスし、24周目給油作業を行い松井孝充選手と交代、その時点で順位はクラス2位となる。そのピット作業で思わぬ事が、ピットペナルティー60秒課され45周目にピットイン。再び出走し順位は変わらないまま周回を重ねた。そして55周目再びタイヤ交換、給油を行い谷川達也選手にバトンタッチ！その時点の4クラス1位との差1分40秒谷川選手は前方車輛を高タイムで追い上げるが70周目で作戦を変更、このまま2位でゴールする作戦にした。

チーム代表兼監督コメント:小林春基 チーム総監督

開幕戦までに地元岡山国際サーキットでテストを重ねた結果が表れ、予選からクラストップタイムを出す事が出来ました。今回のタイムスケジュールは29日午前中に予選、そして午後には決勝とかなりハードなスケジュールとなりましたがチームメカ、ドライバー含め素晴らしいレース展開をこなしました。

60秒のペナルティーもありましたが、今回開幕戦ツインリンクもてぎ第一戦目にしてチーム体制は前年度の経験が生かされ今シーズはかなり体制も整っていると確信して降ります。

今回Bドライバー松井孝充選手はフォーミュラー乗りで箱車は初めての経験ですが予選では素晴らしい結果を残しました。今後のドライビングに期待が持てます！

第一戦目にしてポール獲得、そして表彰台に立てた事はチームにとって今後レースの活力になると信じて降ります。次回第二戦はスポーツランドSUGO 5月9日～10日、完璧なチーム体制で臨みます。

応援して頂いて降りますスポンサー様にも感謝して降ります。全力で参戦致しますので今後とも宜しくお願い致します。BOLD MOTOR SPORTS チーム及びBOLD WORLD Absolute DSは確実に進化し続けます。



ドライバーコメント:谷川達也 選手

開幕戦は、日曜日に予選&決勝が行われ、練習走行時間も少ない状態で開催されました。事前の合同テストも不参加でしたが、岡山国際サーキットでプライベートテストを数回行った事で昨年より良い状態で開幕戦を迎える事になりました。

土曜日に行われた練習走行では、テストで得られた基本セットを基にセッティングを煮詰めて行きました。また、新たなパートナーの松井選手や今年のパートナーの河村選手もそれぞれの仕事を着実にこなして練習走行を終えることが出来ました。

予選では、周りの状況を確認してからコースインをすることにしました。このレースウィークで初めてニュータイヤを履きましたがマシンバランスも良くタイムも2分10秒438でトップタイムを記録する事が出来ました。Bドライバーの松井選手も経験不足でありながらも2分10秒782を出し、チームにとって初めてのポールポジションをプレゼントする事が出来ました。

決勝は、スタートを担当する事になり1回目のピットストップまでリードを広げる作戦で挑みました。タイヤやブレーキを労わりながらの走行でしたが、それでもピットストップ予定までに15秒ほど後続に差をつけることに成功しました。ピット作業も順調に終わったと思いましたが、エンジンスタートに手間取りタイムロスをしてしまいました。松井選手も失った時間を取り戻そうと走行を重ねましたが、ピット作業違反で60秒のペナルティストップを命じられました。ペナルティストップを終えた時点でも上位にいたので気持ちを切り替えて最後のスティントを走ることにしました。トップとは100秒以上の差がありましたが徐々に詰めていく事が出来ました。しかし、左フロントに違和感を感じたので2位のポジションを守るための走行に切り替えました。その結果、チームとしては2回目、選手権のかかったレースでは初の表彰台を得る事が出来ました。

今回のレース前までは、表彰台はまだ先のことと思っていました。しかし、レースになると初のポールポジションを得られ、決勝もトップを走行する事が出来ました。ただ、嬉しい表彰台ではありましたが、悔しい表彰台でもありました。チーム力は確実に上向いているので第2戦は優勝が狙えると思います。

ドライバーコメント: 松井孝充 選手

公式練習

まず一本目は谷川さんがセットを出してくれていたの二本目の自分が乗るときにはマシンに慣れることだけに集中しました。その中でマシンの挙動は安定していました。このセッションでは自分のドライビングを色々試しました。三本目でロングランをしました。その中で、今の自分の走りではフロントタイヤを使いすぎてしまうのがわかっていたのでそれを克服しようと思いました。マシンのフィーリングはウイングの角度を変えたことによりストレート後のブレーキング開始時が安定するようになりました。

予選

公式練習で周りに遅れをとっていたので自分で出来る範囲でアタックしようと思い予選に挑みました。アタックラップに1コーナーでコースオフしてしまったのでその周は捨ててタイヤを温存して次の周にアタックしました。タイヤはピークを過ぎていたので少しグリップ力が下がっていたのでタイムはあの状況ではまずまずだったと思います。それとベストを出した周に気になったのは路面にバンプがあるコーナーで一回跳ねだすと止まらない感じがありました。

決勝

自分のパートまで谷川さんがマージンを作って帰ってきたので気持ちには余裕がありました。ピットでのトラブルでマージンがなくなったのですが、無線でこのままのペースでと言われ落ち着いて周回することが出来ました。きっちりタイムをそろえることが出来たのは良かったと思います。今後の課題としてはロングランでのペースアップをしなければいけないと感じています。

今回チームに合流でき本当にいいチーム・メカニックだと痛感しました。それは、レースに対する気持ちがとても強く走行が終わるたびに情報収集を欠かさずメンテナンスを夜遅くまでがんばっているメカニックさんその方々にも本当に感謝しています。今回起きたトラブルは経験として次回から同じ事が起きないようにすれば良くなると思います。

次回はチーム一丸となって勝てるようにやりますので、よろしくをお願いします！